

あしや

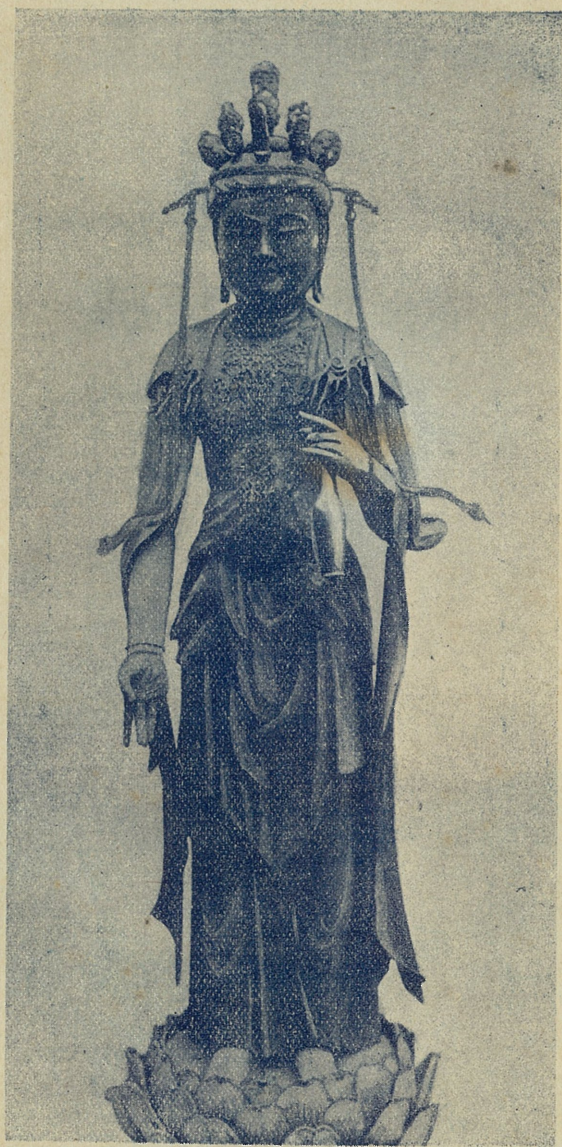
第六号



10円



☆ 仏教美術の調和美



恵心僧都の作と傳えられる十一面觀世音の立像（打出觀音堂所藏・木彫）



六甲山の高山植物

志 賀 費

○……初めて高山に登山して驚きと喜びの目を輝かすのは豊富な紫外線に恵まれ、鮮麗な色彩の各種の花色と強烈な風雪に堪えて、矮小可憐な姿の高山植物の咲き競うお花畑に登りついた時でしょう。

○……その高山植物が吾が芦屋からは裏山とも云うべき六甲山に自生しています。その代表とも云うべき植物は岩鏡を推すべきでしょう。春から初秋まではその名の示す通り鏡の如き深緑の照葉で、「ゼニ龜」の甲を見る様な可愛い形で、山ではこの月中旬以後鮮紅華麗、数箇の花をつけ、晩秋には紅葉して愈々照りはえ、群落を作つて居るのは実に奇麗です。(上の挿絵の右側の花)

○……第二は烏頂蘭で、岩場の岩の裂目や苔の中等に二三枚蘭の葉形に類似の葉僅に一二寸、その中心から紫色縞模様、稀には純白赤色迄の蘭科植物特有の花を五月中旬から六月迄一ヶ月近くも咲き続ける。花期も永く而も採取して鉢に栽培しても毎年花をつけて、園藝趣味の無い人でも恐らく好きになれる植えて見たくなる蘭科植物です。その次は、ヒナ蘭で烏頂蘭によく似た今少し形が小さく数が少ないので六甲山では却つて珍品に属します。

○……第四番目は梅鉢草でしょう。六甲山頂の草原に紫の「龍胆」や「センブリ」黄色の「秋のキリン草」と混生し、梅花形純白端正な葉形以上四種は代表と云うべきでせう(志賀産婦人科長・山草の研究家)

三月十日招集、会期二十日にわたる芦屋市予算議会において、予算案総額四億七百余万円を熱心に討議してこれを可決した。第二日（三月廿日）に猿丸市長より提案理由の説明を行ったが、以下は猿丸市政の財政白書である。

健全財政確立への曙光

予算議会の討議二十日間に及び

予算総額四億七百余万円を可決

本日茲に三月定例市会の当初に際し、昭和二十五年度歳入歳出予算案並びに關係諸議案につき、これが概要の説明を申述べると共に、明年度市政の方向を明らかにし所信の一端を披瀝する機会を得ましたことは私の最も欣快とするところであります。

願れば不肖市長就任以來既に一年有半を経過いたしました。予て本市政の刷新確立については、各位の強力なる御鞭撻と御助言により、逐次健康住宅都市、観光文化都市への面目を整え、大いにその將來を期待し得る段階に立ち到りましたことは、市政擔當の責務を負荷せら

れた独り私の感激のみならず、地方自治発展のため各位と共に洵に慶びに堪えない次第であります。

さて、終戦後都市財政の上には大きな波動を與えたインフレーションも、その後ドツジラインの強行はよく安定への過渡的役割を果し各種障害は次第に除去せられ、根本的に是正を見つゝあることは御承知の通りで

猿丸市政財政白書

ありますが、未だ尙充分とは言ひ難いのであります。ドツジプランによる「総合予算の均衡化」の線をつらぬく厳格なる緊縮予算の編成は、國庫財政健全化のために寧ろ地方財政の極端な圧縮が行われ、配付税の減額、地方債発行總額の縮減、而も一方では地方税の増税を招き、これに伴う徴税の強化は、地方行政の円満なる遂行に多大の困難を來すに至つたのであります。

市役所運営の高率化へ

然るところあたかもこのときジャウパ報告書は、地方自治の裏付けとしての税制改革のみならず、自治行政は実質的に未だ留てない拡充を遂げ、画期的な重みを加えるであろうところの地方自治運営に極めて理解のある勧告を行い明年度は漸く明るい見通しを有つことができることになりましたことは、市制施行十周年を迎えた本市にとり、眞に意義深く且つは健全財政確立の曙光を見、甚だ喜びに堪えません。従つて明年度予算編成に当りましては以上の諸點を考慮に入れて税制改正に伴う徴税の適正強化と税外収入の確保、地方公務員法の制定をひかえ市役所運営の高率化、都市発展の基盤としての復興土木事業の推進、新しい事態に即應する教育文化の向上、民生



安定社会及び労働対策の強化、斬新且つ時代の文化を導入した保健衛生の指導と施設の充実、轉換期にある産業経済の振興及び市制施行十周年記念諸事業の完遂に重點を置き、市政方向の裏付けとしたのであります。その結果、予算總額は一般會計二七二、二三〇五二五円、特別會計一三四、八一八、六三一円となり、前年度当初予算に比し一般會計は一二八、四一〇円の増と相成つております。これに対する財源は、市税収入については税制改正後に補正措置をとることとして取敢えず舊制度による七七、〇三七、七九三円（内地方配付税二〇、一三八、〇〇〇円）を計上、又、使

目次

表紙・扉絵・カット……………柴谷幸二郎画

仏教美術の調和美……………十一面觀世音の立像
打出親王寺所藏

★六甲山の高山植物……………山崎研究家 志賀 費 1

猿丸市政の財政白書……………2

富士の白雪の如く……………GHQ新聞隊長
インボーデン……………11

読者の利益こそ……………GHQ顧問
マックイッシュ……………12

★郷土研究シリーズ★

阿保親王の御事績……………生田 嘉作 13

隨筆「古蹟漫談」……………黒田 辰男 17

◎肩のこらぬ話

一四助役大に放談……………20

★投票区或の変更……………22

★参院選挙の栗……………23

★高齢投票者を表彰……………24

★優良投票家庭表彰……………24

○告知板……………24

○各課たより……………25

○編集後記……………28

用料及び手数料九、八一七、九六五円、公営企業及び財産
収入六、一〇〇、七九九円、國庫支出金四三、八七八、一
五九円、縣支出金一〇、四五五、〇三七円を見込むと共に
市債については建設的な事業財源として二〇、一〇〇、
〇〇〇円を求め、その他歳出に伴う附随収入として四、八
四〇、七七二円を計上いたしました。

以下順次歳入歳出面の重要施策について説明を加えるこ
ととし、各款項に亘りましては議事の進行に伴いそれぞれ
關係各係から詳細申述べることにいたしたいと存じます。

税制改正による市税収入

先ず税制改正による市税収入については、その主力財源
である固定資産税及び住民税はそれぞれ現行の三倍余と
二倍半に上る見込みでありまして、新税制による本市税収
入の總額は現在のところ壹億円を超過する予定でありま
す。然し乍らシャープ勸告により、國税、地方税を通じて
計算すれば一般的には減税になるのでありますが、如何に
も地方税は増税に相成つた感じがいたします。納税者
毎に見れば、事実増税になるものも出てくること、思うの
であります。従つて納税者側からも賦課される税に対する
検討も積極的に行い、進んでは市の財政經理や行政運営に
ついても批判することが期待せられるのであります。

り、今後健全財政を貫くためには行政執行上一段の考慮を
拂いたいと考えております。

次に使用料及び手数料については幼稚園保育料を除き一
應現行のまゝとし、公営企業及び財産収入において競輪會
計益金收入三、三〇〇、〇〇〇円、財産賣拂代金二、六四
〇、〇〇〇円を計上して来るべき補正予算まで一應收支の
計数を整えることとし、國庫支出金及び縣支出金について
も措置の明確でないものについてはこれ又前年通り踏襲い
たしました。



市債につきましては、本年二月末市債償
還未済額は三七、六七四、一〇二円であり
まして、借入未済のもの五、三〇〇、〇〇
〇円を加え四二、九七四、一〇二円と相成
つております。明年度は、この上更に復興事業費並びに小
中学校復舊新設、児童會館、市民病院及び卸賣市場及び庶
民住宅等建築に伴う経費二〇、一〇〇、〇〇〇円を起債
に求める計画でありますから、これを加えると合計一六
三、〇七四、一〇二円の市債を負担することと相成ります。

次に歳出面につき申し上げます。先ず市議会の円滑なる運
営と機能の高率化に着目し、最近市行政の専門化技術化に
伴う必然的現象としての「本会議より委員会へ」の趨勢に
鑑みこれが完璧を期するため、常任委員会運営に要する新

又地方税についての大きな改革は税源の分離、即ち縣市
町村それぞれの税に対しての自主権の拡大による税率の決
定、課税標準の査定、徴收等總て自己の権限並びに責任に
おいて行うこととなる結果、地方團體の徴税に關する責任
は極めて大となり、苟くもこれを怠ることあれば納税者に
對して迷惑をかけるのみならず、予定の税収入を得ること
ができず、財政の運営に支障を來すこととなるのでありま
す。故に本市におきましては、明年度徴税機構の置及び量
の拡充を考慮し、差当り稅務職員を十名増員すると共に、
徴税勵に要する経費を若干計上し、これが完璧を期した
次第であります。



次に配付税収入については一應前年度同様
の額を計上いたしておりますが、シャープ勸
告による一般平衡交付金は財政需要と課税力
と適合せて課税力が標準経費に満たないと
ころを埋めるといふ建前でありまして、標
準経費だけの財源は確保され財政調整は完全に行われま
す。反面この制度の如何によつては地方財政は一定の枠内
に填められ、強く制約をうけて自主性を害される恐れなし
としないのであります。余り多くを期待し得ない実情に
あるため、現在の見通しとしては、実歳入面においては現
行税制による場合に比し遙かに多くを望むことは危険であ
りました。

自己の機關により自己の負擔において一切の地方行政を
処理する自治の成否は執行機關の適否にかゝつていとも
言えるのであります。近代の公務員制度の理念と方法を
導入した地方公務員制度の制定をひかえて、地方公共團體
の自主性、自律性との調和を保たしめつゝ、如何にして職
員の能率向上を図り眞に市民生活に貢獻せしめ得るかは、
役所運営上の骨子であると思料し、職員の質的刷新と待遇
の改善を主眼に、新に職員研修費五〇、〇〇〇円と、給料
平均一号増俸を見込み計上すると共に文具費、被服費及び
当宿直賄料を増額した外、完全なる事務管理と相俟つて物
件費の自然増も亦已むを得ぬ経費と考え、各位の御明察を
お願いいたしたのであります。機構の整備充実について
は今後更に検討を加える心算であります。



警察及び消防が自治體に移譲せられて
から既に二ヶ年を経過し、その間漸次施
設運営共に充実改善を見、相当成績を華
げて參つたのであります。これが關係
経費も亦著しい負擔と相成りましたが、
明年度警察及び消防組合分賦金はたとえ西部三ヶ町村
の離脱によつて多少の増減はあるとも合計約一五、〇〇〇、

〇〇〇円の予定でありまして一應財源の都合もあり、全額計上は分賦金の見通しを待つこととし、取敢えず税制改正まで双方合して三、三二二、三五六円を計上いたしましたのであります。また本市消防團におきましても各分團共に優秀なる自動車ポンプを常備し、消防署と相俟つてよくその機能を発揮しつゝあることは御賢察の通りであります。これが維持運営には従来の経費を以てしては到底市民の期待に副い難い點もありますので、明年度は分團助成金並びに燃料費及び修繕料の増額を図ると共に刺子絆纏を新調して團員服装の完備を期した次第であります。

次に本市が将来健康住宅都市観光文化都市を以て任ずると否とに拘らず、道路橋梁河川及び用悪水路の維持改良新設並びに市内の清掃整理は、当面急を要しますので、明年度は土木費は勿論、これが關係経費を大幅に増額し、都市発展の基礎を固めたい計画であります。一方全市二十八万坪に亘る本市復興事業の速かなる進捗は、これ亦都市復興の根幹をなすものでありまして、これが遂行には全力を注いでおりますが、國の事業認證額の決定が遅延する關係もあり、目下折衝中でありまして、一應本年度事業に準じ五、一一一、九三〇円を計上し、通常土木事業と両々相俟ち、各位の御協力を得て逐次市内の面目を一新したいと考えております。

かと存じますので新教育關係諸費の増額、教員免許法施行法の規定による認定講習、視學員の囑託、教員内地留学等に要する諸経費のほか、教職員研究費一人当り百円を一應五百円に、また需用費を相当増額する等これが目的達成を期した次第であります。その他幼稚園保育料を二百円に引上げ、入園料として一人二百円を徴集することにしたしました外、先般公布せられました私立学校法第五十九條の趣旨に則り、新に芦屋女子高等学校外、私立小学校及び幼稚園を含め私立五校園に対し總額二五〇、〇〇〇円の補助金を支出して私学の振興を期したのであります。



一般市民層の文化の昂揚を目指す社会教育關係におきましては、婦人会、體育協会、美術協会その他各種團體共々本市に相應しい活潑な動きをみせておりますことは既に御承知の通りでありまして、本市としても協力を吝まない覚悟であります。事業面については幸い好評の市立図書館の整備孤充を期し、他に容易に得難いスポーツ關係の図書約三千冊を譲り受け、その特異性を持たしめると共に蔵書の充実を図り、現に狹隘を告げつゝある図書館の建築については目下折角調査を進めております。市民體育祭市展その他本年実施の各種行事については充分省察を加え、明年度も更により効果的にこれを踏襲すると共に

教育文化都市芦屋の再建



教育文化都市芦屋の再建は、新しい事態に即應して廣く市民層の教養を高めると共に学校教育の振興、社会教育施設の拡充伸展を図る以外にはないと信ずるのであります。終戦以來各位を始め、市民並びに關係者に多大の御心配と御協力を得て参りました被災校舎も漸次舊に復し、明年度は精道小学校講堂(公民館)新築並びに学級増加に伴う山手小学校々舎の増築を始め、宮川小学校鋼筋校舎の第二期工事、岩園小学校鋼筋校舎の全面的修築及び精道中学校々舎補修並びに止むを得ぬ事情のため遺憾なが遷延を重ねておりました山手中学校の本建築第一期工事の早急着工を期し、建築費總額九七、六六三、〇六〇円、内起債六八、二〇〇、〇〇〇円、國庫補助二五、一六六、六二〇円、残額四、二九六、四四〇円は一般歳入主として競輪収益金を充当する目論見で、これが完成には一段の拍車を加え、各位の御期待に背かない覚悟であります。同時に既存各校舎の全面的修理補強を計画し、これが経費一、一八九、七三一円を計上いたしております。また教育振興の基礎となる教職員員の資質の向上と、P・T・Aの負擔の軽減とは現下教育施策の上から深く考うべき筋合

新に婦人創作手藝展の開催、郷土史編纂、史蹟名勝天然記念物保存費の計上等、芦屋文化の発揚に努めました外、先般本市に発足を見ましたユネスコ協会、將來性に囑目し、これに十万円を助成してその將來を期待することになりました。山手體育場の完成とフルにこれが使用については目下再検討中でありまして財源の確定と共に急ぎ残工事に着手したい考えであります。

生活困窮者の指導誘掖



民生の安定、社会及び労働施設対策の強は、現下の社会情勢に鑑み愈々その要を加え生活困窮者に対する指導誘掖と温い保護は、窮狀にある人々の生活再建のため刻下の急務と考えますので、保護費七、六四二、〇〇〇円を計上し、本事業の万全を期しております。また住宅対策は民生安定上最も重かつ緊急を要する施策であり本市の住宅不足数は今なお約七〇〇戸に上りますので明年度はこれに対し既定計画の実現に努力する考えで、鋼筋縣管住宅二棟の誘致と庶民住宅一〇〇戸を予定して経費二二、〇一八、五〇〇円を計上し、予て計画中の分譲住宅の完成を急ぐと共に近く実施の運びである住宅金融公庫に就ても能う限り市民の恩恵を多からしめるよう力を致したい

所存であります。なお明年度は木造二階建約百五十坪の児童會館を建設し、児童福祉の殿堂として児童會集會所、娛樂室、圖書室及び保育室、授産室をも併設し、母子施設の一端ともいたしたい計画であります。建築費總額は三、五〇〇、〇〇〇円でありまして、全額起債に仰ぐ予定であります。その他特に各個人のための機会とよりよき生活條件、より大なる安全保護及び不幸の防止を與えようとする凡ゆる社会保障制度については、關係法規の精神を體して鋭意研究を進め、逐次予算化して行きたい心算であります。

本市がモデル衛生都市、明朗住宅都市を目指して夙にこれが施設に万端の努力を拂い、市民も亦これを誇りとして多大の關心を有していることは事実であります。今後この方面に一層深い研究と調査を進めて斬新かつ時代の文化を導入した保健衛生の指導と施設を講じて行くことが急務であることは言を要しません。市民體育については市と體育協會が中心となつて各種體育行事を主催し、逸早く終戦後の一般類虎の傾向から市民の健康と明朗を取戻しつゝあることは御賢察の通りであります。予防衛生の完璧は衛生戸屋の当然な歸結と心得、傳染病予防費、傳染病院費、結核予防費、汚物掃除費及び衛生諸費についてはそれぞれ考慮を拂い、保健衛生の万全を企図いたしました。目下修理中の塵芥焼却場も近く復舊の曉は汚物処理の完全を圖り得る

會に助成金十萬円を支出する外、信用保證協會出資金十萬円を五十萬円に増額する等、中小商工の振興に幾分なりとも寄與するの方策を進めると共に更に商工要覽の作成及び商工調査研究費を若干計上し、やがて本市のみが未設置にある商工会議所の設置にまで発展せしめたい所存であります。また低物價への対策は延いては荷受機關の強化にありと考へ、新に綜合卸賣市場の設置助成を計画し、建物建築費八、〇〇〇、〇〇〇円を起債に求め当初これが運営助成に年間一、二〇〇、〇〇〇円を計上いたしまして、低廉且



つ優良なる物資を通じて市民台所との繋りと貢獻に努めたい考へであります。農林方面では幸いに本市の農地委員會、農業共済組合及び農業調整委員會等が堅実に而も協調的に強力な活動を展開し、常に良好なる

成績を挙げて参りましたことは既に御承知の通りでありまして、明年度は農業關係經費七、一四、一三七円を計上いたしております。また青山六甲の治山治水については市民の最も關心を有するところでありまして、幸い明年度は裏山三十町歩にわたり國費及び縣費合せて一千五百万円を以て植林並びに堰堤を造設、砂防工事を施工せられる予定でありますので、これが工事雜費三〇〇、〇〇〇円とさきに愛山運動によつて市民からの篤志になる三七、〇〇〇余円を

こととなり、最近市民の声も大きくなつて参りました屎尿処理についても夏季衛生期までには解決のうへ更めて追加計上し、期待に副いたたいと急ぎ計画を進めております。又明年度は差当り市内三ヶ所に公衆便所を設置する等市内の清掃整理と相俟つて環境衛生の実効を收め、眞に明るい芦屋、住みよい芦屋の建設に邁進いたす所存であります。なお又多年懸案の市民病院については、今回總工費三六、〇〇〇、〇〇〇円を予算化し模範的な綜合病院を建設の上、市民の便利と福祉に貢獻いたしたいと構想につき研究を重ねております。

綜合卸売市場の設置助成



次に戦前この方十數年に亘つた統制經濟も漸時自由經濟へと移行し、日本經濟の中核をなす農家及び中小企業に対する關心は金融と税金対策を中心として極度

に高まり、これが組織を整え確固たる地盤を與えることは財政經濟上、社会的な重要課題となり、市政面におきましても、この轉換期に処して万遺憾なき様措置することは目下の緊要事と確信し、重點的に助力いたしたい考へであります。斯様な情勢から從來の物資需給調整助成金は最少必要限度に減額し、新に今回結成を見ました芦屋商店街連合植樹のため、これが人夫費一二、〇〇〇円を含めて林業費三二二、〇〇〇円を計上いたしました。

全市民と共に祝福する本年

恰も芦屋市制施行十周年、愈々日本再建の基礎なるかの感を強うし迎えた昭和二十五年、本年こそは四万市民と共に祝福し且つは最も意義ある年たらしめたいと念願するものであります。眞に芦屋を愛し芦屋を悦び芦屋を建設するに相應しい事業の計画も殆んど終り、近く各位に御協議を願う運びであります。取敢えず当初予算には記念行事費一、五〇〇、〇〇〇円を計上し、内五〇〇、〇〇〇円はこれを寄附に仰ぐ予定であります。



昨年八月議會特別委員會の改組と共に企画事務の再充足を見ましたところ、幸いにして關係委員はもとより各位の御熱心なる御協力を示唆に基いて、城山の開

発、六甲横断道路の開設、劍谷靈苑の建設及び打出浜國際的ヨットハーバーの設置その他重要案件も漸次実現の緒に着き、明るい見通しを得ましたことは眞に感激に堪えない次第であります。明年度は更に調査を強力に進めると共に併行して予算化を考慮し、先ず城山開発費一、二三〇、〇〇〇円を計上、一應これを完結せしめまた劍谷靈苑五ヶ年

計画の下に初年度四、一〇三、三〇〇円を投じ、当局の認可を得次第着工の予定でありまして、竣工の時は逐次希望に應じ料金前納の上使用せしめる計画であります。更に引き続き六甲横断道路、ヨットハーバー、奥池等の測量調査に要する経費三一四、〇〇〇円を合せ、企画調査費六二四、〇〇〇円を計上し、眞に市將來に備え得る企画事業の誕生を期待いたしましたのであります。先般結成を見ました芦屋地区観光協会に対しては明年度も引続き十万円を支出し助成いたしました考えであります。また、弘報事務も漸次活潑となり、その要を痛感いたしますので、弘報委員会経費、弘報「あしや」及び市政要覽印刷費その他弘報関係経費に七五二、九二〇円を充て、近い將來には弘報宣傳バスの購入も必要かと思料いたしております。

最後に關係特別委員各位を始め全員挙つての絶大なる御努力を煩わしております自治振興調査につきましては本市將來のため多大の成果を収めつゝありますが、なお今後も引続きこの事業の重要性に鑑み明年度は一應五〇〇、〇〇〇円を計上し、これが完遂を期した次第であります。

以上一般会計について所信を交え、大要の説明を終りましたので、次に特別会計について概略御説明申し上げます。

市民の水道として進んで奉仕

先ず上水道費について申述べます。明年度上水道費は一ましたため、支出に多少の無理を生じた結果、一般会計への繰出しは困難であるのみならず、人件費燃料費等止むを得ぬ経費の外は支障のない範囲で最少限度に止め予算總額三、二〇二、五九四円を計上いたしました。

次に競馬競輪事業につきましても、これ亦關係特別委員各位の非常なるお骨折りは元より議會挙つての御協力により偶々今次競馬の不振を除いては競馬競輪何れも共に好成績を収め、更めて明年度を期待し得ることは御同慶の至りであります。競馬会計については過般開

催分につき目下計数整理中でありますので更めて明年度へ繰越す予定につき今回は当面必要経費のみに止め、競輪事業費については一應九、四四三、五三五円を一般会計へ繰出すこといたしました。

以上を以て昭和二十五年年度歳入歳出予算案の概要を御説明申上げた次第であります。何卒慎重御審議の上速かに御協賛を賜わらんことをお願いいたしまして御挨拶いたします。



〇、二八一、五九九円に上つておりますが、市民の生命を掌握し日常生活と不可分の關係にある水道事業の公共性とその重要性に顧み、使用料は据置とし、主として經常費の節減を図り専ら水道施設の拡充整備に重點を置いたのであります。特に濾過池の整備は最も急を要しますので、新に欸を設け濾過砂の補充と濾過床の改築整備に要する経費五四〇、五〇〇円を計上いたしております。破損、漏水その他震災による水道施設の不備陥陥は逐次復舊して参りましたが、復興事業の進捗と相俟つて更に完璧を期し、眞に市民の水道として迷惑をかけないのみか、進んで奉仕いたしたい決意の下に、水源淨水場、配水池及び水管の維持については勿論、量水器の管理、漏水防止等にも万全の措置を講ずる予定を以て、それぞれ關係経費を増額いたしております。



本年度新設の打出、清水両市當浴場経営もその後漸く軌道に乗り、比較的順調に運んでおりまして、これが開設が一般民営浴場に対し衛生上予期せぬ効果を挙げ得ましたことは眞によるこぼしい次第であります。明年度は清水湯敷地所有者より敷地買上方願出もありますので、この際購入の予定を立て経費七八、一二〇円を計上いたしましたのと、市債の償還が当初の算定より五ヶ年短縮せられ



富士の白雪の如く清く
谷間の百合の如く美しく

GHQ民間情報教育局新聞課長

インボーデン少佐講演

GHQ民間情報教育局新聞課長ダニエル・インボーデン少佐ならびに同局顧問として來日中の週刊新聞「ハーヴェイ・カウンティ・ニュース」紙社長ジョン・マックイッシュ博士を囲んで、五月十一日午後一時から芦屋市佛教会館で「週刊新聞育成講演会」が開かれた。以下はインボーデン課長ならびにマックイッシュ博士の講演要旨である

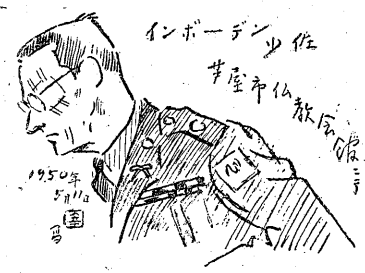
自分たちの郷土を

優れた地方都市にせよ

◆……自分たちの郷土を、最もすぐれた地方都市に育てあ

けることを目標として、週刊新聞紙は発刊されねばならぬ。

◆……この会場（佛教会館）は、市民の心の美しさを反映した立派な建物であるが、もし、立派な週刊新聞紙が生れて、この街の発展のために貢献するならば、もつと立派な建物も建つだろう。



◆……真面目な週刊新聞とは日本のガン「ゴロッキ」新聞とは全然種類を異にする高い倫理に立つものだ。アメリカには日刊紙が二千種、週刊紙が一千万種発行されているが、その間になんらの利害の衝突がない。

◆……神戸、大阪、東京の新聞は、國際的問題、日本の問題を報道はするが、町や村の細かい記事を報道するところまで手が届かない。週刊新聞は、商工会議所、婦人團體、学校、農業協同組合、その他の團體の代弁者でなければならぬ。

読者の利益こそ

マックイツシユ博士講演(要)

◆……週刊紙の発行は謎ではない。週刊紙は地方のニュース、郷土に關する報道、地方のP・T・Aの活動その他を報道する。読者の利益になることを報道するものでなければならぬ。

◆……場合により國家に關するニュースの解説なども当を得ている。

◆……健全な社説、共同社會の改善を目標としたもの、學校の発展に指導的役割をもつもの、健康、幸福、福祉、責任を自覚する高邁な人格者がこれに当らなければならぬ。

◆……財政を自立することが週刊新聞の生きる道だ。日本から永遠にゴロッキ新聞を撲滅するために、郷土の新聞、週刊新聞が発刊されねばならぬ。

◆……それには、どうしても株式会社とすることだ。株主が理事を選挙し、理事が全面的な責任を負い、経営者を雇つて監督する。製作方針の決定、従業員決定も理事である。

◆……自立のためには支出を最少限度に食いとめること。週刊紙を持続すれば収入はある。ゼイタクは禁物である。

里人は親王様の御祭りだというてはしゃいだものであつた。昨冬十二月一日の御墓前祭の日も前夜から降り出した雨が朝もなお降り続いて居たので、折角の御祭りが雨では困るがと思つて居ると、御祭典の一時間程前から止んでよい天氣になつたので不思議に思はれた。

親王塚の形式が堅穴式円墳であつて、時代がずつと平安初期より遡るので果して親王の御墓であるか否かを疑はれる考古学上からの推論もあるが、この關係に就ては門外漢の私には解説がつかない。

親王は平城天皇第一の皇子で、御母は後宮葛井藤子と申し、延暦十一年の御誕生である。この年は桓武天皇が平安遷都を加茂神社に奉告せられ、亦攝津職を廃して攝津國とせられた年である。桓武天皇から御位を継がれた平城天皇は御資性聰敏にして博學文藻に富まれ、仁慈の心教く、父帝に仕えて至孝御施政にも見るべきものがあつたが、御即位以來不幸にして凶年が続き疫病流行して猖獗を極め、大同三年には正月以來死者続出して、京洛に於てすら死屍路傍に累々たる有様であつた。天皇も三年春頃より病に罹られ容易に治せず、終に四年四月位を皇太弟に譲られ御親政は僅々三年に過ぎなかつた。そのあいだにも皇弟伊與親王の寛死、神野親王の讒言に因る御憂悶等の御近親間に忌はしい事件があつた。御健康恢復して後齋都に退隱して居ら

★郷土研究シリーズ★



阿保親王の御事績

生 田 嘉 作

日 月 日 日
廿 廿 二 二
日 日 日 日
御 祭 祭 祭 祭
日 日 日 日
あ あ あ あ
つ っ っ っ
た た た た
が が が が
、 維 維 維 維
新 新 新 新
後 後 後 後
太 太 太 太
陽 陽 陽 陽
曆 曆 曆 曆
を を を を
採 採 採 採
用 用 用 用
し し し し
て て て て
か か か か
ら ら ら ら
十 十 十 十
二 二 二 二
月 月 月 月
一 一 一 一
日 日 日 日
と と と と
な な な な
つ つ つ つ
た た た た

この日はどの様な雨天であつても御祭典の時刻には必ず上るとの言傳えがあり、その日、

れたが、寵姫薬子仲成の勧めによりて復祚を謀り弘仁の亂を惹起したが、田村鷹等の善謀により亂は数日にして平ぎ上皇薙髮薬子毒死、仲成射殺等にて落着したが、上皇の皇子たる当年十八歳の阿保親王は事に坐して太宰権師に貶せられ、皇太子高岳親王は廃せられ異母弟大伴親王を皇太子に立てられた。

高岳親王は十三年のち佛門に入りて眞如と号し二十四年後の承和四年、許を得て求法のため入唐、留まること三十年更に印度に往かむとして羅越國（シンガポール附近）にて病んで業平と年を同うして薨せられた御年八十余歳であつた。

阿保親王は筑紫に在ること十数年憂き年月を送られたが、淳和天皇の天長初年恩詔にて入京を許され、翌三年諸王子に賜姓を請はれ許されて高岳親王の例に倣うて在原の姓を賜はつた。長子音人（竹園記には孫と記さる）は母が中臣氏にて大枝姓を称し後大江と改め、學者の家として匡房廣元を出し毛利氏の祖となつた。阿保親王の御墓に他の陵墓に見られぬ石燈數基のあるものこの縁によりて毛利氏の獻じたものと言はれ、親王の御領地中夙川辺は薨去後大江音人が継いだとも傳へられ、維新の際毛利氏が兵を京都に進めるに當り、こゝに屯所を置いたのもこのうら騷りがある故とも考えられる。

る。歌数は傳十二番二十四首に過ぎず判詞もないが、續後撰、新勅撰、玉葉等に中納言行平の家の歌合にと明記され何れも詠人不知として載つて居る。後年百首歌合千五百番歌合と発展し判詞もつき左右歌の優劣争ひの外左右何れも洲浜台の飾物等に趣好を凝らして、勝負を争ひ宮中禪神の大行事となり、終には歌合に負けて悶死した者さえ出したその先驅をなしたものである。

行平は寛平五年七十六歳にて薨じた。歌をよくし画をよくし資性温籍の人となりであつた。その女文子は文徳天皇の後宮に入り更衣となつて皇子貞数親王を生んで居る。

五男業平は在五中將と称せられ、時の東宮を向うに廻して、権臣藤原長良の女高子をつれ出して日本一の駈落をや、藤氏の鼻をへし折つた快男子である。

親王の御官歴は大同四年四品、天長十年三品に叙せられ天長四年上總太守、仁明天皇の承和元年治部卿に上總太守を兼ねられ、同三年宮内卿に太守元の如く、四年兵部卿に太守元の如く、同九年彈正尹に再太守となられた。太守は皇族に限られ上總常守上野の三國のみに置かれ、京師に在りて俸祿だけを受け任地は介をして治められるのである。その他三河の國に田地四十余町を賜はつて居る。業平の東下りはこれら父親王の縁故の地を頼つて住つたものと考へられる。

王子は音人の外二男從五位下駿河守仲平、三男正三位權中納言行平、四男從四位大膳大夫守平、五男中將業平の四人で女は從四位左近衛權中將藤原敏行の妻となつた。行平は諸曲松風に馳名を誇れて居

阿保親王像



阿保親王像

陸奥出羽守按察小使を歴任、藤原氏の敏学院に對して獎学院文章院を創設して王子の教育に勉めた。亦歌合は行平が創始者であつて在民部卿家歌合が歌合の最古のものである

承和九年五月に淳和上皇が同年七月十五日に嵯峨上皇が續いて崩御になり翌十六日御葬儀が行はれたが、その翌十七日東宮帶刀伴健岑但馬權守橘逸勢（能書で有名な）等が東宮恒貞親王を奉じて東國に亂を謀るということが、當時彈正尹の任にある阿保親王から、橘暎峨太皇太后に手紙を以て告げられ、太后は中納言良房を召して仁明天皇に奏上せられた。皇太子は才智勝れ容貌端嚴、威儀閑雅學を好み文章に秀で書も巧みであり、人情にもよく通じて居られたので、道康親王を取巻く藤原氏一門の勢力とその間に絡まる消息の機微を察せられて、四年前の承和五年に皇太子の位を辭せられたが許されなかつたという事情もあり親王の潔白であること、健岑は微官の身で東國に兵を挙げようなどとは想像も出来ぬことであつたが、兎も角健岑逸勢は捕えられた。皇太子は恐懼して再位を辭せられたが、帝は東宮の罪にあらずとして聽許せられなかつた。

然るに数日後の二十三日に何者か飛書を上りて健岑等が東宮に叛を教へ奉つたと上言したので、帝の態度が急に硬化し左少將良相が勅を奉じて近衛の兵を以て皇太子の王曹を包圍して東宮の官員百余人難色に至るまで捕縛し、次いで大納言愛発、中納言吉野、參議文室秋津も縛せられて院中に幽せられ、皇太子を廃して親王とし、逸勢健岑以下六十余人は流諱、以下の諸臣もそれ／＼貶せられ、八月四

日鹿太子は淳和院に監送せられ、道康親王十六歳にて皇太子となり事変は落着したが、この変は藤原氏が良房を中心として他の氏族の勢を削るために調策したもので、淳和の太后正子皇太后は非常に震怒悲号して、深く嵯峨太皇太后を怨まれたとのことである。この変によつて橘氏以下の勢力は大いに衰え、藤原氏の権威が一層盛んなものとなつた。然し平城嵯峨淳和の三御兄弟が順次皇統を相承して、次の皇位継承の上に一抔の不安が存して居たのがこれより嵯峨天皇の一系となつて安定した。

阿保親王は謙遜にして才文武を兼ね、臂力あり絃歌をよくすあり、父帝平城天皇の御隠棲置御所に近く御縁故深い奈良の不退寺に遣存する木彫着色等身大の阿保親王木像は寺傳業平作と称し(美術史家では室町時代作と推定)最もよく親王の風貌を傳えて居ると称せられ、打出親王寺毛利氏寺納の画像を見ても豊頬肥肉堂々たる丈夫の佛を見る事が出来る。不退寺にはこのほか寺傳業平自画像という右手は筆を捧げ左手料紙を持ち前に硯宮のある透額冠を頂いた衣冠の業平の古像が存して居る。

芦屋打出の郷は当時親王の御領地であつて葛後行平業平が継承し、都にも近く打出には御館があつて親王寺は御館跡と称するものもある。

承和の変が八月に片すいて間もなくその年十月廿二日にしない。貞観三年親王より後ること十九年にして薨せられた。御壽何歳であつたか判らないが親王より教養御年下としても六十余歳でおかくれになつたのである。

芦屋に親王の御墓があることは、市の誇りの一つである。せめて御墓前祭の時だけでも市民は一人でも多く参拜しようではないか。



古壺漫談

黒田辰男

人間が子壺から出て骨壺に入ると云う諺を思ふと、壺と人間とは切つても切れない因縁があるのではないかと考へさせられる。

私は生來壺といふものが好きで青二歳の頃から壺に興味をそそられて来た。拾ひ集めた壺を試験台にしてその思想を探究し一日中でも壺と戯れて飽きなかつたものである。

良妻から「妾より壺が大事なのですか」等と皮肉られたことが幾度あつたことか、夏は申又一つで裸の壺を出したりしまつたり、冬は「壺さん寒からう」とストーブの前で

打出の御館で薨去御壽五十一歳であつた。朝廷に於ては承和の変の功を思召され優詔を賜い、一品に叙せられ、從四位上藤原助、從四位下田口佐渡主、從五位下藤原宗成、同路真人永名を遣して喪事を監護せられ、葬日には参議從四位上和氣眞綱を勅使として差遣はされた。

親王の妃は桓武天皇第八の皇女伊都内親王に在はし。御事績としては生母藤原南子の御遺言により、天長十年山階寺の東院西堂に香燈及読経料として熟田四十六町余、莊一処、畠一町を寄進せられ願文を納められて居る。元水谷川男爵の所藏であつたが、維新後皇室の御物となつた。縦九寸六分行草體六十七行五百三十四字で末尾に御名をつましましやかに記せられ、御手印が廿四箇処に捺されて本文は逸勢の書と傳へられ書道大鑑に原寸の写真石版が輯録されてある。それから伊勢物語に長岡に任み給り御母の條に

十二月ばかり御文ありこと事はなく

老いぬればさらぬ別れのありといへば

いよ／＼見まくほしき君かな

となむありける。これを見て馬にも乗りあへずまゐるといといとうち泣きて

世の中にさらぬ別れのなくもがな
千代もといのる人の子のため

という哀話があるばかりで、自分は淺識その他のことを同じ様なことを繰り返したものである。

私は壺に生命ありと思つて接している。それだから太平洋戦争の時何よりも先に壺を避難させ、やれやれと思つて生活必需品を蒙の中に疎開したのであつた。その時も良妻から「壺が一等大事なのですか」と愚痴られたその記憶も未だ新らしい。私は吾が子の様に愛してゐる壺のために何をさておいてもそうせざるを得なかつたのであつた。理窟で割り切れない人の生活にはこうしたこともあると云うことを知つて貰いたい。

所でこのように壺を可愛がつたので、その壺共を自分の部屋にドデンと据えて眺めることが出来ている。危険から護り保存して来たので一層の愛着が湧くのである。

さて壺であるが、壺といふものは実用本位に作られたもので種壺、浸し壺、茶壺、鹽壺、梅壺、油壺等々貯える器として作られた様であるが、われわれ近代人はこの壺の思想にふれて、花壺に使つたり鑑賞美術品に使つたりして日常生活の友として親しんでいる。

所で私の親しんでいる壺は古陶の壺で、万曆とか康熙とか白磁とか辰砂とかの様に綺麗な壺でなく古信樂、古伊賀の種壺或は茶壺として生れたものである。この壺は一般の人から窺られると駄目で、割れ壺とか小便壺とかと笑われる様な代物だ。この駄壺が好きとはタダ喰う虫が好くので

すよとお断りしておこうか変竹林な氣まぐれである。しかしこれ等の古壺を並べて眺めていると、見入れれば見入るほど潤いが湧き話せる壺よと呼びかけたくなるのである。

支那の青磁や染付、赤絵、日本の伊万里、九谷等のそばに並べたら、アメリカ娘のそばに寄る海女娘という不調和であるが、古伊賀、古信樂には得も云われぬ味と云うものがあつて含蓄した余韻をしみじみと偲ぶことが出来る。茶人の云う滋味というものであらう。

私の愛している壺、古信樂壺の中に七百年以上という生命を保つて来た黒鐵肌の、がっちりした種壺がある。體土は代赭褐色で積上式の手作り、牡丹の花でも入れてやると肌びつしより汗をかき、花というお客様を一層ひきたてる代物で横山古窯のものと思つてゐる。

また、赤褐色の肌に淡緑の斑點を散らし乍ら全面火彫れを出して、丁度大江山の酒天童子が酒に酔つぱらつてあはれ廻り、頭の所きらわずめちやくちやに瘤を出したという恰好で、しかも生き生きとした古壺がある。私は鬼壺と名付けているがこれは飾り壺に使つてゐる。五位ノ木古窯の生れであらう。

更に肩に二本の線を引き廻し、その間にXの印を竝べている體土は暗灰色で肌の煤けた種壺であるが、この代物は本の表紙や口絵の引合に出される壺で古信樂壺の代表の様に現出し、その周辺に口から流れ出た朋黄ビードロ釉が下底の所まで垂れ下つて見事な景色を描き出している。その體驅たるや堂々たるもので猿丸声屋市長か双葉山を偲ばしめる。

尙、壺と云つてよいか瓶と云つてよいか私は壺と思つているが、體土は淡灰色で肌は大変面白い自らの釉薬で七彩を出している代物である。この壺は床の台にも置けるもので、胴體の半面即ち顔の半面に灰をかぶつてゐる姿は坂崎出羽守の千姫を救つた時に受けた傷を忍ばされる。片方の半面には黒ずんだ青のビードロ釉が氷柱の如くたれ下つて豪快そのものを味い得る楽しい壺だ私はこの壺を膝の上に乘せてくるくる廻し乍ら楽しんでゐる。

この他に古伊賀筒型の小さい花瓶がある。胴は堆土式で底の糸切りは見事、長石の白釉によつてその胴肌に無造作に描かれた景色は松雪を想像され單素な雅趣である。一輪の薊の花も美しく生かす筒で、切花の値の高い此頃の世相には打つてつけの経済花筒である。

私はこの様な鏘のついた壺に愛着を持ちながら只一つ康熙五彩の普通人にも好まれる壺を持つてゐる。この壺に描かれてゐる構図は優雅な庭園を背景として、明から清に亘る風俗で裕福な二人の支那の大人が卓に倚り、この大人に配して酒瓶を捧げた小孩が描いてある。この構図を彩る色

にされている。

尙、口が漏斗型で肩付から灰をかぶり暗灰色の體土からにじみ出た自釉で薄朱色の肌に焼上り乍ら、朋黄硝子釉を胴體に流している、しかもその胴體の格好が歯痛を思つて頬を膨らし、しかし痛々しい感じの起らない愛嬌たつぷりの壺がある。これは躑と愛稱されるもので常に飾壺として使つてゐるが花を生けてやることもある。

他の壺共の中に利久時代と思はれる胴體に螢でもとまつて光を出している様に紫乳色の釉薬が點々とたまつてゐる螢壺と愛稱しているものがあるがこれは小壺である。

所で逃げた鱈は何とかで大変惜しまれてならないのは信樂白壺である。この壺は昭和二十年八月五日の夜、松ノ内町の家が戦災にあつた時應接室の飾棚に坐つた儘家と共に運命が惚つたのであつた。格好と云い上りと云い珍らしい白壺で、生れた当時は獻上茶壺として大宮人の御殿に伺候したものである。惜しいことをしたものだ。

古信樂壺はこれ位にして古伊賀の壺を手がけて見る。私の住居の脇床にデンと据えておる壺ではあるが、これは伊賀に大作なしと云はれ乍ら大作として現存する姿の良いい茶壺である。生地は伊賀独特の淡灰色の體土で、肌は暗褐色の上に橙色、藍色、黄色等七彩を交へ、硃石は梅蕾となつて斑點を成し、銅肌の中央に火焰が喰い込んで丸型の灰かぶ

彩は康熙独特の色調でよくもこれまでに焼き上げられたものとの絵付けに感心させられている。私はこの壺を古伊万里の香炉の横に置いて画幅を眺める心地で愛している。



彩は康熙独特の色調でよくもこれまでに焼き上げられたものとの絵付けに感心させられている。私はこの壺を古伊万里の香炉の横に置いて画幅を眺める心地で愛している。

に上られる。人間の社会生活も壺の生命の様に清廉潔白でありたいものである。



肩のしらぬ話

四助段大
いに放談

(市側) 松岡弘報主任

後 鹿 一氏 (大前前市長)
賀集 富治氏 (長岡前市長)
西村 猛氏 (杉岡前市長)
丹原 実氏 (現猿丸市長)

◆昔屋の物価も安くなつた◆

松岡——政治の面にはあまり触れないで、ごく碎いたお話を伺いたい。

賀集——とにかく働くこと、苦勞することに意義を感じて、大いにハリキッてをります。

筏——生活のための苦勞はよい、賀集さんはエライ。世の中を悟つてをられる。

丹原——生活と直結する卸賣市場の建設など、今われわれは計画している。

賀集——芦屋の物価が高いといはれたのは昔の話。世間のことをあまり知らずに、女中さん委せで、ご用ききから物を買つたから高いものを買つた時代も、たしかにあつた。

でもらう。それには安く仕入れて安く賣る。そのうえ、もう一つ景品をつけてサービスする。

西村——値段が高いものが賣れんのは当り前だ。都市の理想としては、かりにマキ、炭一俵買うとしても、その都市で賄へるかたちになるのが理想だ。ところが、芦

屋市は違ふ。そこで特色がある。文化都市といはれるから先づ教育に力を入れんといけない。厚生面では病院をつくる。また、道路を整備して住みよい街にする、住宅にも力を入れる。そして住みよい街にする。更に、税金をすこしでも安くする。税金が他町村より高いと人が集まつて来ない。

筏——芦屋がなぜ繁昌するか、それは税金が安いのが特色だ。われわれが市にいた時代には住吉が一番安かつた。(村有財産が多かつた) そのつぎは芦屋だつた。

丹原——税金は普通とつて、施設をよくするのも一方法だと思ふ。施設がよくつたら自然に税金がさがる。

◆国際的な観光施設を◆

賀集——芦屋は風光明媚な土地だから、國際的な観光

筏——魚屋の場合は、行商の方が安いように思う。

丹原——安いものが悪いと思う人もあるが、昔と今はだいぶ交つた。今は、だいたい安いものを好むようになった。

筏——高いものを買うのは虚栄心ではないか。生活をすこしでも樂にすることは、何人ものぞむところだ。その意味で卸賣市場の建設は結構、これによつて、いゝものを安く供給してやる様にした。

丹原——市民の台所を、すこしでもうるおうようにしたい。

賀集——市場へゆくのには、前は西宮まで行つた。現在は、市内にたくさん市場ができたために、つばぜり合ひをしてるので、市民は安い物が買えるので幸福だ。

筏——しかし、あの景品賣りはどうか、それよりも、値段を安くするほうがよい。

賀集——市場としては、とにかく、お客に来て貰かんとお賣にならぬ。そこで、福引をやる。福引をやれば現実にお客さんがくる。しかし、知識階級は福引に反対かもしれない。

筏——福引のやりかたはあかん。

賀集——私も (中央市場) は両方やることにしている。第一番に安くすること、第二番は福引でお客さんに來

てもらう。それには安く仕入れて安く賣る。そのうえ、もう一つ景品をつけてサービスする。

西村——値段が高いものが賣れんのは当り前だ。都市の理想としては、かりにマキ、炭一俵買うとしても、その都市で賄へるかたちになるのが理想だ。ところが、芦

屋市は違ふ。そこで特色がある。文化都市といはれるから先づ教育に力を入れんといけない。厚生面では病院をつくる。また、道路を整備して住みよい街にする、住宅にも力を入れる。そして住みよい街にする。更に、税金をすこしでも安くする。税金が他町村より高いと人が集まつて来ない。

筏——芦屋がなぜ繁昌するか、それは税金が安いのが特色だ。われわれが市にいた時代には住吉が一番安かつた。(村有財産が多かつた) そのつぎは芦屋だつた。

丹原——税金は普通とつて、施設をよくするのも一方法だと思ふ。施設がよくつたら自然に税金がさがる。

◆国際的な観光施設を◆

賀集——芦屋は風光明媚な土地だから、國際的な観光

施設をしたらどうか。賭博場、ホテルも建て、港コーベに上つた外人はまづ空気のよい芦屋に泊るようにする

丹原——結構だ。ヨットハーバーの完成、六甲縦走路の完成、奥池附近の開発、それにバクチ場も作りたい。藝妓を西宮から引ッ張らずに芦屋にも置くように考えた。昔は婦人会あたりが反対したというが、今は、時代感覚が交つて來た。

賀集——モナコ、イタリー式のもので外人から税金をとる様にする。外國に行つた人から意見を聞いたらどうか。名士が市役所にくるか。

筏——賀集さんの意見も結構だが、商工会議所は造らんのか。

丹原——作る計画がある。商店連合会あたりを母體として……

筏——職業の実態調査をしてみたらどうか。僕の時代は市民の一分が商人だつたが、今は、二割も三割も商人ではないか。

西村——ドングレリスはどうか。その周囲をバクチ場ににし、その一帯を観光地帯にする。そのためにも、合併は必要だ。本庄の港を開港して築港にする。金は大きく要らぬ。埋立をやれば國庫補助で、金は残る。

松岡——それではこの辺で……。

有権者の利便を図り

一部投票区域を変更

参院選挙



六月四日の参議院三年議員の改選を目途に控え、市選挙管理委員会においては、選挙事務に忙殺されている傍ら、去る一月の補欠選挙における棄権率六割という不名誉を挽回すべく有権者の啓蒙宣傳と棄権防止対策に腐心しております。今回選挙法の改正により居住要件が六ヶ月から三ヶ月に短縮された關係上、約三千名の有権者の増加が予想されるので、投票所を一ヶ所増設し、一部投票区域及び投票所を変更する等、有権者の便利を図ることにいたしました。新しい投票区域と投票所は次のとおりであります。

芦屋市投票区(投票区域)及び投票所一覽表

- 投票区 投票場所 区 域
- 第一投票区 山手中学校 塚田町、伊勢町、松浜町、浜宮町、本田町
 - 第二投票区 岩園小学校 六耀町、岩園町、朝日ヶ丘町
 - 第三投票区 打出公会堂 打出藁ヶ丘町、打出桶町、打出春日町、打出小桶町

- 第四投票区 備道中学校 打出藁町、打出桶町、打出西殿町
 - 第五投票区 芦屋高等学校 上宮川町、宮園町、宮川町、泉川町
 - 第六投票区 岩園駐在所 大原町、東山町、打出藁子殿町
 - 第七投票区 靈光幼稚園 養本町、養學町、大舞町、公光町
 - 第八投票区 海濱幼稚園 船戸町、松ノ内町、月形町、西宮屋町、三條町
 - 第九投票区 安樂寺 山手町、東宮屋町、山宮屋町、西山町、三條町、奥山
 - 第十投票区 山手中学校 前田町、清水町、川西町、津知町
 - 第十一投票区 宮川小学校 打出大原町、打出桶町
- なお市選挙管理委員会事務局では、市の教育室、企画課弘報係、各新聞社、各学校、警察署、婦人会、日赤奉仕團青年團、少年團體連絡会、商店街連合、映画館(芦屋会館)等と連絡、その協力を得て次の如き啓発宣傳並びに棄権防止計画を立案し、選挙法改正の趣旨、内容及び参議院議員通常選挙の重要性の周知徹底を図り、本選挙における棄権を防止するため強力且つ廣範的な啓蒙宣傳運動を展開して、七割以上の投票率をあげ、文化芦屋の面目を新たにしたいと懸命の努力を続けておりますので市民各位の絶大な協力を望んでおります。

参院選挙の啓蒙宣傳棄権防止計画

- 1、補充選挙人名簿登録申請者の調査申請用紙の配布
- 2、入場券配布(名簿漏れ補充者申請期間中)
- 3、高齢投票者及び優良投票家の表彰
- 4、掲示

補充選挙人名簿登録申請者及び名簿漏れ補充者名簿漏れ補充者名簿漏れ補充者(二四〇〇名)

- 市内要所及び理髮屋、浴場、飲食店その他の店頭
- 候補者氏名掲示(五月二十五日一六月四日、市内三ヶ所)
- 立看板(市内十七ヶ所、ボスター候補者氏名掲示等貼付)
- 6、懸垂幕(国会、映画館)及び横断幕(街頭)
- 7、放送 廳舎よりの放送、市場、映画館等の放送設備の利用 学校放送施設の利用
- 8、幻燈(映画館)
- 9、各種会館の利用 市關係及び各種団体の会合の時、場所の連絡を願
- 10、その席に係員を派遣して啓蒙宣傳、棄権防止の説明を行う
- 11、学校の協力 朝会、教科授業の活用、ボスター標語の作成掲出、棄権理由調査、戸別別出(前後(当日))
- 12、街頭宣傳
- 13、乗用車(トラック)マイク装置、ボイテ装置、宣傳班乗込
- 14、五月十七日
- 15、五月十七日
- 16、五月十七日
- 17、五月十七日
- 18、五月十七日
- 19、五月十七日

参議院議員選挙の葉

投票日 昭和二十五年六月四日(日曜日)

投票時間 午前七時より午後六時まで
投票所 投票所入場券に明記(別掲一覽表参照)

有権者 昭和二十五年二月六日以前から芦屋市内に住むようになった人で、昭和五年五月六日以前に生れた人(但し選挙人名簿に名前が登録されてなければ投票出来ません)

不在者投票 次の方は投票日の前日までに不在者投票をする方法がありますから棄権しない様なるべく早目に選挙管理委員会事務局へお問合せ下さい(電話でも結構です) 芦屋二二二番)

- 1、所属投票区の区域外で職務又は業務に従事中で投票に行けない人。
- 2、その他止むを得ない用事で当日所属投票区の区域外で旅行中又は滞在中の人。
- 3、病氣負傷妊娠産褥にある人又は不具のため歩行の著しく困難な人。

○選挙人名簿に登録されておる方は入場券がなくても当日投票所に行けば投票できます。
○文字の書けない人も投票することができます。

すがは健康住宅都市

ほまれの長壽者六十人に一人



去る四月十六日縣立芦屋高等学校講堂で第二十七回の敬老会を開演し、満七十歳以上の方は七百六十九名を数へ、芦屋市人口六十人に一人の割合で長壽者の方が全国的にみて多く住まわれているものと思はれます。

高齢投票者を表彰

高齢者の多数おられるうち、昨年一月の衆議院議員総選挙、六月の参議院議員補缺選挙及び本年一月の参議院議員補缺選挙と引続き参回御投票下さいました方は六十九名もおられ、範を後

輩に示されたことは眞に民主日本の長壽者として、その堂々たる御態度は芦屋市民の誇りであります。芦屋市選挙管理委員会はこの敬老会の佳き日に記念品を贈呈致しました。

優良投票家庭の表彰

芦屋市選挙管理委員会では五月三日憲法実施記念日に当り午前十時より市内茶屋之町芦屋会館において去る一月の参議院議員補缺選挙の際、四人以上の有権者のある家庭で五人までは一〇〇%、六人以上は八〇%以上が投票された次の一七家庭の世帯主と點字投票者一名の表彰を行い、記念品として國旗を贈呈し、更に將來の協力を御願し、芦屋会館で上映中のイタリヤ映画「靴みがき」の観賞に佳き日の半日を楽しんで頂きました。なお表彰された方々の中には著名な方も多く、市長猿丸吉左衛門氏もその一人で、当日市長として、又個人としての喜びの挨拶をされました。

の諸氏。

美術協会員募集……

芦屋市美術協会では、芦屋市に於て美術文化昂揚のため一昨年春結成されたもので、事務所を芦屋市精道町九一ノ四芦屋市教育室においている。会費は正会員二百円、同好会員一〇〇円、賛助会員一〇五〇〇円（ふづれも年額）です。ふるつてご入会ください。

ABC講座茶話会

芦屋ユネスコ協力会では去る二月から阪部芦屋高校長を講師として、ABC講座を毎日曜ごと、芦屋高校にひらいているが、新制中学一年生の坊ちゃん、嬢ちゃんを始めとし、芦屋女子高校のお姉さんがた、それに初老のおぢさん、おばさんまでが熱心に勉強してをり、たまたま参観した文部省ユネスコ課の事務官はこの勉強ぶりに絶讃のことばを送つたので、そのご褒美として四月三十日の勉強がすんだ後、同校で茶話会をひらき、川越常任理事の激



告知板

芦屋市美術
展覧会

芦屋市制実施十周年を記念し、第三回「芦屋美術展覧会」は六月十一日から同十八日まで佛教会館でひらく。

(1)種別 日本画、洋画、彫刻、美術工藝、写真(2)出品 誰でも隨意に応募できます。一人につき三點以内、作品は各種別にわたつて差支えなし。ただし、既に発表したことのある作品は受理しません。なお、昨年度の受賞者は無鑑査出品できます。(3)搬入は六月三日(土) 四日(日)の午前九時から午後六時まで、佛教会館へ(4)鑑査 審査には左の諸氏(イロハ順)が当ります。伊藤継郎、伊藤立巳、井上寛造、春山武松、吉原治良、ハナヤ勘兵衛、野崎南海雄、山田皓齊、山崎隆夫、福田眉仙、木村敏一、青木秋堂、湊弘夫

予選もかねて行いました。

一、該当者 昭和廿四年三月生れの者
二、審査日 三月廿四日 於市役所ラプ室

励のことば、阪部校長の英語勉強の秘訣のお話など、和氣あいあいのうちに正午すぎ散会した。

娯楽殿堂「芦屋会館」生る

文化都市といわれながら、長いあいだ、映画館が焼けたまゝになつていた芦屋市に、こんど映画上映の「芦屋会館」が生れた。市民待望の映画館は市内茶屋ノ町に建設された白壁のスマートな建物で、シートもよく大入満員の盛況である。

「ハムレット」「靴みがき」上映のときは午前中、学校の映画教室として利用したりして、新しい映画館のありかたとして好評を博している。

各課だより

優良乳幼児を表彰

芦屋市の第四回優良乳幼児の審査及び表彰は左記の要領で実施した。尙今回は全日本赤ちゃんコンクールの地方



三、表彰式 四月一日 於市役所三階 展間
表彰に当つては市長、芦屋保健所長、廣瀬婦人会長等よりそれ／＼表

彰状及び記念品が贈呈された。
四、審査員及び審査補助員
芦屋市医師会長 富永 実
医 師 大林 正太
芦屋市助産婦会長 野口 ヨネ
副会長 大塚 いくゑ
小林 たみゑ

五、優良児氏名
男子の部
西原 慎治
三上 利明
寺井 明

女子の部
東山町一九六 高田 典子
西蔵町二四 天王寺谷 泰子
春日町一三二 渡部 春恵
寺井 明

昭和三十二年以來使用不能であつた塵芥焼却場(焼却能力は一日十トン)はこのたび環境、衛生の向上と施設改善のため修理中のところ、去る四月十一

日復舊完成し火入式を行い同日より十数年來絶えていた芦屋市唯一(高さ一五〇尺)の煙突よりたくましい煙を排出した。尙塵芥処理について特にお願い致したいことは
(一) 燃焼塵芥と不燃焼塵芥とは必ず区別して下さい。
(二) 不燃焼塵芥も蒐集はいたしません。
(三) 現在町角に備付けてある塵箱は近日に全部撤去いたしますから各家庭毎に塵箱を備えて下さい。(衛生課)

本年度の行事予定

昨年社会教育法が制定せられましてから、全国的に社会教育は確固たる軌道に乗つて進みつゝありますことはまことに喜ばしいことで、本市としてもその精神に即して市民の文化生活の向上と健康増進を図る意味において、本年度は各種團體の協力のもとに左表の通りの行事を実施したいと思ひます市民の皆様も何卒御援助下さいますよう御願ひ致します。(社会教育課)

月 一	月 二 十	月 一 十	月 十
成人の日討論会並に講演会 縣下駅傳走 ロードレース 登山会	芦屋市駅傳走 ロードレース 卓球大会 登山会	茶藝道展覧会 市史資料展示会(又は児童見学会) 写生会 体育祭 国民体育大会 登山会 陸球大会 バレーボール大会	児童遊樂会 婦人創作手工藝展覧会 国民体育大会縣下予選 市長旗優勝秋 野球大会 ソフトボール大会 卓球大会 登山会 ロードレース
月 中 行 事	月 三	月 二	月 一
体育協会理事會 美術協会常任委員會 婦人会役員總會 青年会理事會 社会教育常任委員會 茶藝道協会役員會 読書クラブ常任委員會 映画会 巡回劇團	成人講座 緑化運動 阪神間四市二郡駅傳走	校区指導員連絡會 社会教育市委員會 ロードレース 登山会 卓球大会	校区指導員連絡會 社会教育市委員會 ロードレース 登山会 卓球大会

行 事

月 九	月 八	月 七	月 六	月
校区指導員連絡會 社会教育市委員會 日蝕観測會 西日本実業團对学生相撲大会 那市對抗陸上競技大会 登山会 国民体育大会地区予選	社会教育研究大会(社会教育委員會をかねる) 海水浴 水練學校 阪神間市町村対抗水泳大会 野球大会	美術講義會 西日本実業團相撲大会 海水浴開遊 水練學校 子供の運動會 卓球大会	市展 スポーツ圖書展覧會 校区指導員連絡會 社会教育市委員會 綜合体育大会 バレーボール大会 卓球大会 登山会 野球大会(休協主催)	月 行 事

市税徴収に御協力を

皆さん方の最も關心をもつて居られます市税の二月末現在の徴收總額三五、五九七、五八二円でありましたものが、皆様方の御納付により三月末日までに三九、九八五、四二九円と一ヶ月間に四、三八七、八四七円の徴税増加となりましたが、尙千數百万円の未納税金がありまして完全徴收の域に達する事の遠いのを遺憾とするものであります。何卒皆様方一層の御理解と御協力と、而して芦屋市を思ふ熱意に訴えまして、五月末日の出納閉鎖迄に完納のほまれを全國に誇りたいものと念願するものであります。(税務課)

記後集編

本誌も、月刊建として市民の皆さまにお目見得することになったので、一層親しまれ、愛されておられ、編集者としてこの上の喜びはない。どうか、市民みなさまの手で作る雑誌として、原稿をどしどしお送りねがいたい。

わが郷土、わが街の健全な発達をねがうためには、真面目な週刊新聞の発行がのぞましい——とは、GHQ新聞課長インボードン少佐ならびにマツクイツシユ氏のお話であるが、市から発行する「あしや」に対しても、われらの郷土を愛する精神をもつて、より一層の御支援御鞭撻をお願いする。

いろいろの施策について、市から市

民の皆さまにお知らせすると共に、市民の皆さまの、いろいろのお催しについても、お知らせがあれば訪問して、その報道もいたします。小さいことだから……といつて御遠慮なさらずに、どしどし御通知ください。

A町の武夫さんと、B町の夏子さんが華酌の典をあげられた、お茶の会を催された、その他歌の会、俳句の催しなども、お知らせがあれば出来るかぎり報道いたします。

計報なども掲載いたしたい。はがきで御一報ください。

やがて、この芦屋市に、インボードン少佐の提唱されるような真面目な週刊紙も生れることせう。そうすれば市で発行する本誌とともに、市内の行

事は細大洩らさず報道され、この芦屋市は、ますます健全な発達を遂げ、ほんとうに住みよい、暮らしやすい文化都市になることは疑いをいれませぬ。

市民のためになる雑誌——それを最高の理想として、私たちは更に更に努力するつもりです。重ねて市民のみなさまにお協力をお願いいたします。

(松岡生)

あしや 第六号

頒價 十円 送料 六円

毎月発行 送料共 半年分 九十六円

昭和二十五年五月十八日印刷

昭和二十五年五月廿二日発行

編集人 松岡 正夫

発行人 猿丸 吉左エ門

大阪市北区堂島上二ノ二五

印刷所 大阪高遠印刷株式会社

芦屋市精道町九三

発行所 芦屋市役所

芦屋の話題になつたロケを この地でこの物語を心から しみじみとご覧下さい

朝日賞・毎日賞・読売賞に輝く大谷崎の
豊麗文学を日本映画界最高のスタッフ
とキャストで映画化した豪華超特作

「細雪」を明るい感じの良 皆様の劇場「芦屋会館」で

★ 24日 ~~~ 28日 ★

最高の味!

リ

オ

クラシツクなテイ・ルーム

阪急「芦屋川」東半町
電話 芦屋 四六四六番

純喫茶

マンハツタン

芦屋市公光町税務署前
電話 芦屋 三五七八番

月の四・五・六日は

芦屋名物稲荷大売出し

芦屋の物價引下

運動は

芦屋

中央

市場

から生る



皆様

の芦屋

中央市場

省線芦屋駅山側約東へ式丁

公認芦屋中央市場

昭和二十五年五月十八日印刷
昭和二十五年五月廿二日発行
芦屋市弘報
あしや
第六号
頒価十円